

今日から始めよう! 省エネ生活

環境問題への関心が高まる今日、『省エネ』という言葉は定着しているけれど、「まだ日常化していない」という方も多いはず。そこで、家庭で簡単にできる省エネ対策とその効果をご紹介します!



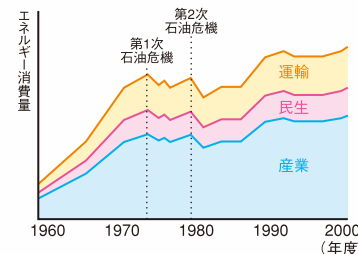
環境問題に大きな影響を及ぼしているのが私たちの毎日の暮らし。省エネ生活は、普段何気なく使っている電気製品などに目をむけることから始まります。「地球が…、環境が…」なんて難しく考えないで、まずは節約から始める気軽な省エネ生活でOK。ファミリー全員で省エネ生活を楽しむことが日常化の秘訣ですよ。一世帯の力は小さくても、それが全世帯になれば、やがて大きな力になります。次世代に「キレイ」を伝えるためにも、ライフスタイルを少し見直して、今私たちにできることから始めましょう!

エネルギー消費大国、日本!
日本のエネルギー消費量は経済成長とともに急激に伸び、70年代に起きた第一次石油危機と第二次石油危機でいったんは低下しましたが、80年代後半になると、再び伸び続け、現在もその勢いは衰える様子はありません。今では、日本は世界でも上位にあがるエネルギー消費大国なんです。

私たちの生活の変化が一因。

エネルギー消費量の増加には、私たちのライフスタイルの変化が大きな影響を与えています。冷蔵庫、テレビ、エアコン、車など、エネルギー消費の大きい電気製品の普及がその原因です。毎日を忙しく過ごす現代人にとって、電気製品や自動車は必需品。しかし、それらは便利な生活をサポートしてくれる反面、大量のエネルギーを消費しているのです。このままでは自然のサイクルが崩れ、地球温暖化など、私たちの生活

にも大きな影響が及んでしまいます。私たちのライフスタイルが原因だからこそ、毎日の暮らしをじっくり見直して省エネを実行していくことが大切ですね。



私たちができる5つの省エネ

電気製品の使い方にちょっとした省エネテクニックを加えるだけ。家計の節約にもエネルギーの節約にもつながりますよ!

Kitchen 編

冷蔵庫

省エネテク▶ 扉の開閉は最小限に! ※開閉を半分の回数に減らした場合
省エネ効果▶ 年間 電気約10.40kWh/約230円の節約



冷蔵庫のその他の省エネテク

- 開けている時間を短くする
- ものを詰め込みすぎない
- 設定温度は適切に

Kitchen編 省エネテクをチェック!

- 冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置する。
- 電気ポットの保温は低めの温度で行い、長時間使用しない時はプラグを抜く。
- ガス給湯器や食器洗い乾燥機は、温度設定をできるだけ低くする。

Living Room 編

テレビ

省エネテク▶ 見るときだけONに! ※1時間OFFにした場合
省エネ効果▶ 年間 電気約31.86kWh/約700円の節約 (ブラウン管の場合)



エアコン

省エネテク▶ 暖房設定温度を20℃に! ※設定温度を21℃から20℃にした場合
省エネ効果▶ 年間 電気約53.08kWh/約1,170円の節約

Living Room編 省エネテクをチェック!

- テレビに限らず、エアコンや照明器具などは必要なときだけつける。
- 電気こたつや電気カーベットは、温度設定をできるだけ低くする。
- 照明は白熱灯を蛍光灯に変える。



Bath Room 編

風呂給湯器

省エネテク▶ 入浴は間隔をあけずに! ※1回追い焚きを減らした場合
省エネ効果▶ 年間 ガス約38.20m³/約5,650円の節約

風呂給湯器のその他の省エネテク

- お湯をだしっぱなしにしない
- 水をためて沸かすより、お湯をためる
- 浴槽には必ずフタをする

Bath Room編 省エネテクをチェック!

- トイレの温水洗浄便座は、便座・洗浄水の温度設定をできるだけ低くする。
- 風呂の残り湯は洗濯に再利用する。
- 洗濯物はまとめて洗います。

Car 編

自動車

省エネテク▶ アイドリングストップを! ※エンジンを5秒間停止した場合
省エネ効果▶ 年間 ガソリン約17.33L/約2,220円の節約



車のその他の省エネテク...

- 早めにアクセルオフ
- エアコンの暖房設定温度をできるだけ低くする
- 不要な荷物は積まない

※数値は全て目安です。